

# バイオディーゼル燃料取組実態等調査の概要 (平成23度実績)

## \* 調査対象事業体

- ・バイオディーゼル燃料原料の回収・購入、バイオディーゼル燃料の製造、利用に取り組んでいる全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員及び会員の傘下団体
- ・バイオディーゼル燃料施策・事業に取り組んでいる市区町村
- ・その他バイオディーゼルに取り組んでいる事業者等

## \* 調査対象期間

- ・平成23年4月1日～平成24年3月31日における実績  
(調査時期:平成24年7～8月)

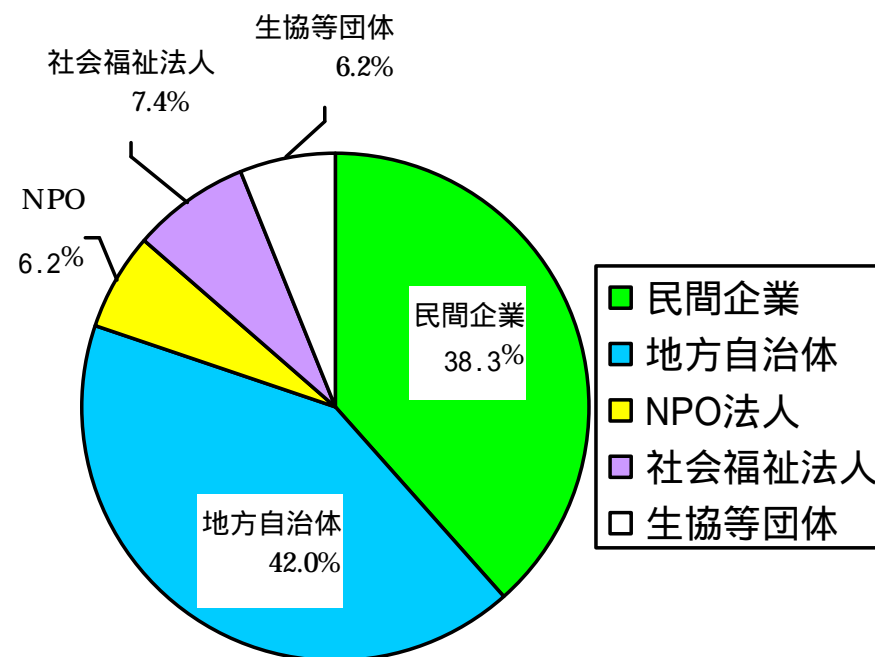
## \* 調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

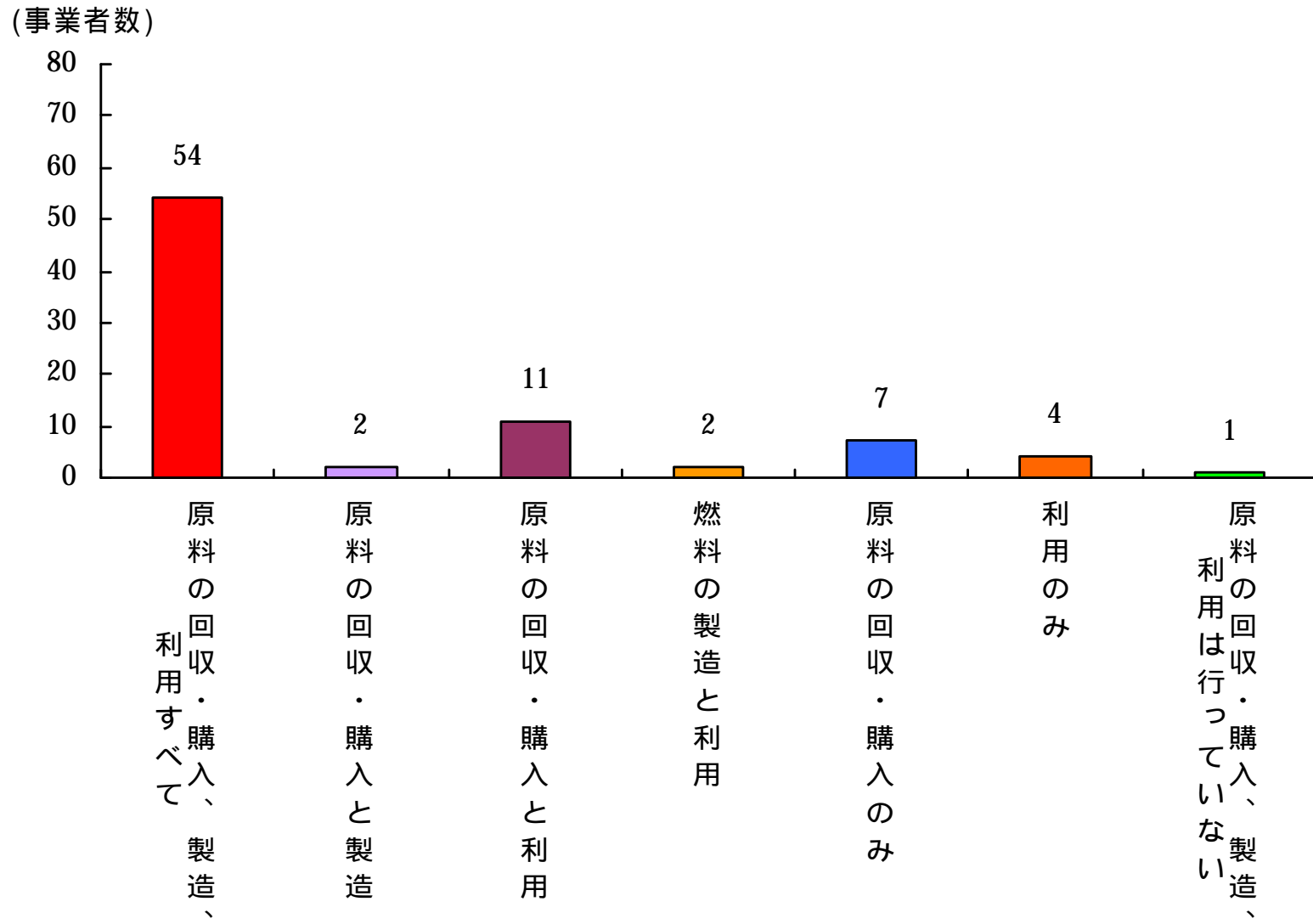
# バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

平成23年度実績のある81事業者から回答があった。

組織	事業者数	割合(%)
NPO法人	5	6.2
民間企業	31	38.3
地方自治体	34	42.0
社会福祉法人	6	7.4
生協等団体	5	6.2
合計	81	100.0

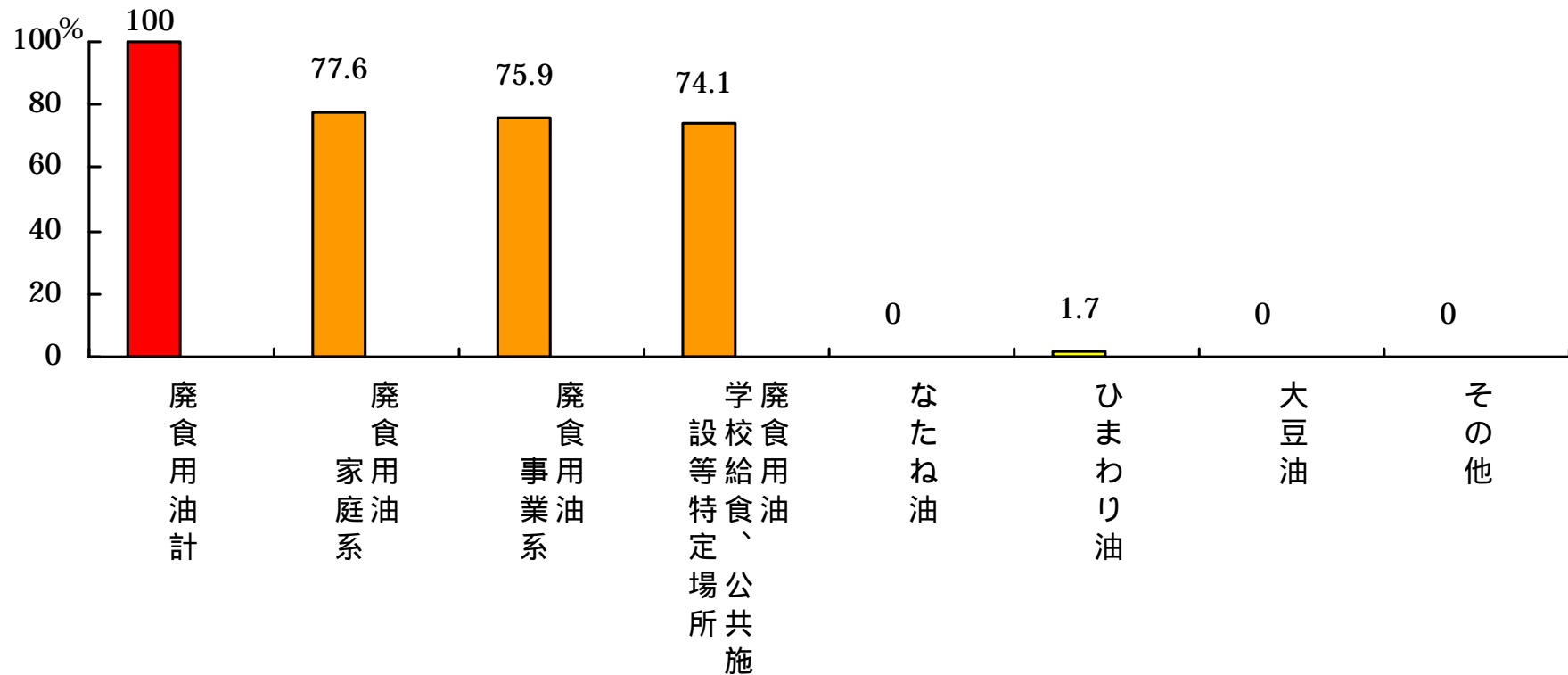


# 取組形態



## バイオディーゼル燃料原料の種類

燃料製造者(58事業者)の全てが「廃食用油」を利用している。  
前年度から原料調達先に大きな変動はみられない。  
(なたね油、大豆油は回答の精度が上ったため減少したと考える)



## 製造量と製造コスト

年間製造量：8,593k（該当事業者58/平均148k）

製造率：90.4%（該当事業者43相加平均）

・原料から製造したバイオディーゼル燃料数量の割合

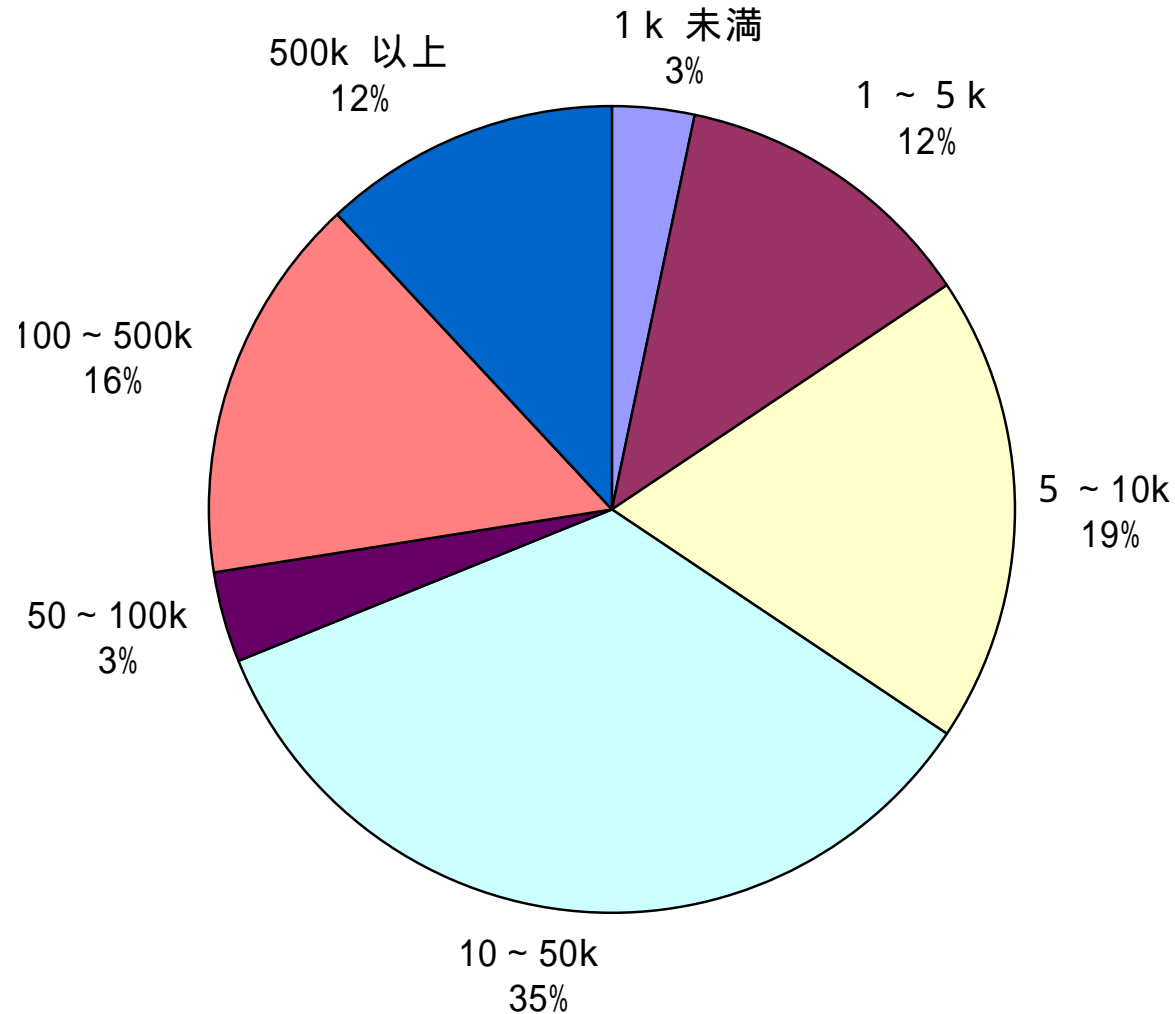
製造コスト：98.2円/（協議会推定概算価格）

・回答33事業者単純平均は、123.3円/であったが、回答のうち特に高額的事象（人件費や減価償却の高額を含んだ回答）を除いた場合の協議会が推定した概算水準価格である。

\* なお、事業者の稼働日数は、平均150日であった。

# バイオディーゼル燃料製造量の規模(年間)

製造量の規模としては、年間10～50kが多い。



## 車両等の種類別利用割合

56事業者から利用していると回答があった。

今回から個別に欄を設けた「発電機」に11者から利用回答があり、その他ではフォークリフトなど重機を挙げた事業者が11者あった。

なお、トラックが前年度800台超から減少した様に見えるが、トラックの大規模利用者から未回答のためである。

用途	ゴミ収集車	バス	スクールバス	公用車	トラック	乗用車	トラクター	発電機	熱源	その他（特殊自動車、発電等）
台数	309	128	6	56	268	37	10	43	6	不明
事業者数	30	11	5	16	33	12	4	11	3	15

## 協議会活動に対する要望(回答事業者60 / 複数回答)

- ・バイオディーゼル燃料に関する情報提供
- ・車両以外の用途拡大の指針
- ・軽油引取税の見直し

などを挙げる事業者が多く、運用やアドバイスなどへの要望も含め多岐にわたっている。

